

【本宮市】 校務 DX 計画

本宮市では福島県教育委員会が県域で運用する汎用クラウドプラットフォーム「FCS（ふくしまクラウドサービス）」及び「統合型校務支援システム」の活用を中心に校務 DX 推進に取り組んでいる。

文部科学省「GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリスト」に基づく自己点検の結果等を踏まえ、下記の取り組みにより、校務 DX を推進していく。

1. クラウドツールの活用

- ・ FCS により、教職員及び児童生徒が Google Workspace for Education の個人アカウントが付与されており、情報共有や連絡、アンケート機能等にクラウドサービスが活用できる環境にある。今後、教職員のクラウドツールの活用がさらに広がるよう、ICT 支援員による支援や情報提供を実施していく。
- ・ 一斉メールシステムの導入により、各学校から保護者への文書の電子化、迅速化を図る環境を整備している。引き続き教職員の負担軽減とペーパーレス化を推進していく。

2. 校務のデジタル化

- ・ 自己点検の結果では、全ての学校で「業務に FAX を使用している」、「保護者、外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類がある」と回答している。これらのことから、教育委員会、外部団体等と連携し、FAX や押印についての制度・慣行の見直しにより、校務の効率化を図る。
- ・ 全ての学校で導入している統合型校務支援システムの活用により、出席簿、通知表等の電子作成により、事務負担の軽減と校務の効率化を図っている。引き続き名簿情報等の不必要な手入力作業の削減を推進していく。

3. 次世代型校務支援システムの導入

福島県において、文部科学省が示す「パブリッククラウド上で運用できる次世代型校務支援システム」を県内市町村とともに導入するための協議を令和 7 年度までに開始することから、県の動向を注視していく。